

(一社) 東北建築構造設計事務所協会 (T S A) 設立 20 周年記念事業

## 東日本大震災、被災地復興の視察 ―復興そして未来へ― 報告

平成 29 年 1 月 16 日

TSA 交流委員会 渡部 健次

T S A 設立 20 周年記念事業「―復興そして未来へ―」の 2 日目は、11 月 12 日(土)に、5 年 8 ヶ月前の東日本大震災の被災地復興をまわる旅を行いました。

被災地のほんの一部ですが、復興の現状を視て、未来に何を伝えるかを考える 1 日となればと思い今回の旅を企画しました。

朝 8 時 30 分仙台駅東口に集合、バス 1 台を貸切り、バスガイドを伴って定刻 9 時出発。

参加人員は、全国各地の FASA 会員と TSA 会員を合わせて 37 名でした。(うち 1 名は別車で参加)

- ① 岩沼市玉浦地区 (被災後いち早く集団移転を決めた地区で、すでにこの地での生活がはじまっているので降車はせず、車内から街並みを見学)
- ② 名取市閑上地区 (被災地での復興を計画した地区、周辺に人家は無く、一部被災地のかさ上げ工事が終わったところでは住宅建設が始まっていました。海近くのメイプル館で買い物と休憩)
- ③ 仙台市沿岸地区 (バスは近くの仙台東部道路を走りましたが、並行する道路で計画されたかさ上げをはじめ復興の状況は確認できませんでした。遠く沿岸に残る松並木をみながら通過)
- ④ 春日 PA (休憩・時間短縮のため車内で弁当の昼食)
- ⑤ 石巻・西浜町津波避難タワー (普段は施錠されているので車内からの見学となりました。近くの堤防はかさ上げ工事中で、近い将来に海は見えなくなるそうです。)
- ⑥ 石巻・日和山公園 (休憩・山の上の公園から復興工事中の石巻市内を見学。仙台市沿岸地区と同様、沿岸地区は道路のかさ上げの計画があり工事中)
- ⑦ JR 女川駅 (休憩・堤防のかさ上げをせず、海のみえる避難を考えた場所です。鉄道駅が出来ると復興がすすんだようみえますが、周辺はまだまだ復興工事の真最中)
- ⑧ 石巻・雄勝地区 (休憩・雄勝名産の硯石工房を見学。石割り体験もしました。仮設工房の目の前に巨大堤防が計



画されているので、説明を受ける予定でしたが、日没時刻が近づいてきたため断念)

- ⑨ 石巻・釜谷山根（被災した大川小学校が残る場所です。周辺に人家は残っていません。被害児童の御家族の方達が待っていてくれ、当時のお話しをお聞きする機会をいただきました。御家族に同行していただき特別に校内に入り、外からはわからない被害状況も見ることができました。裏山にも登り、改めて御家族の無念さを知ることになりました。）



薄暗くなる少し前にバスに戻り、道の駅・上品の郷で休憩したころには空が暗くなっていて、6時には仙台駅に戻り、駆け足でまわった旅が終わりました。

5年8ヶ月前の震災が残ったままの場所もありました。復興工事であわただしい場所もありました。いろいろな復興の形もみてきましたが、命の大切さを知り、復興の今を視て、未来へは何を残し伝えるべきか『復興そして未来へ』を考える旅となれば幸いです。

最後に、今回資料を集めてくださった高橋秀直様。大川小学校での出会いの機会を作ってくくださった市場芳男様はじめ企画に参加していただいた皆様に御礼申し上げます。

そして、震災で命を落とされた多くの方々の御冥福をお祈りいたします。



日和山公園にて